

令和3年度 第1回豊田市商業振興委員会会議録

【日 時】 令和3年6月22日（火） 午後2時～午後4時

【場 所】 ものづくり創造拠点 SENTAN 3階セミナールーム

【出席者】 <委員>

脇田 弘久〔愛知学院大学商学部 教授〕
松永 郁也〔豊田商工会議所 常議員〕
井口 貴視〔豊田信用金庫 中小企業診断士〕
河原 郁子〔とよた下町おかみさん会 平成30年度会長〕
新田 都子〔高岡地域消費者グループ 代表〕
元岡 征志〔シー・プロジェクト 代表中小企業診断士／社会福祉士〕
杉田 雅子〔株式会社 杉田組 ブルーベリー事業部取締役〕
(計7名)

<事務局>

西脇 委千弘〔豊田市産業部部長〕
成瀬 剛史〔豊田市産業部商業観光課課長〕
藤田 憲彦〔豊田市産業部商業観光課副課長〕
吉野 佑美〔豊田市産業部商業観光課担当長〕
鳥山 湖〔豊田市産業部商業観光課主事〕

【傍聴者】 なし

【次第】

- 1 産業部長あいさつ
- 2 事務局紹介
- 3 委員長あいさつ
- 4 副委員長の指名
- 5 本日の審議スケジュール等について
- 6 議事
 - (1) 商店街活性化計画の策定について
 - (2) 商業・サービス機能誘致推進に関する基本方針の策定について
- 7 その他
 - 令和3年度 商業振興委員会開催予定について

【会議録（要約）】

6 議事

(1) 商店街活性化計画の策定について

①下山商工会

下山商工会から説明を受け委員から意見を聴取した

委員

八十八カ所弘法とは。

下山商工会

山の中の参道にお地藏さんが並んでおり、参拝しながら巡るもの。

委員

足助ではお寺をめぐる御朱印を集める事業をやっているが、それと同じようなものか。

下山商工会

少し違う。御朱印集めなどはやっていない。

委員

御朱印は流行していることもあり、人を集めるきっかけになる。そのような特徴あるものがあると良いかと思った。

下山商工会

観光協会が主催で、松平と下山の徳川ゆかりのお寺の御朱印めぐりは行われている。

委員

基本目標にカード会の利用金額が挙げられているが、カード会とは大沼地区の住人が対象になるのか。住人以外にも持っている方はいるのか。

下山商工会

確認が必要だが、地区外からの来客もある。

委員

例年人口が減っていく中でカード利用10%アップは非常に大変そうだった。考えている対策などはあるか。

下山商工会

観光客の利用を促し、地区外の利用者も増やしていきたい。

委員

カード利用者がメリットを感じられるような特典などがあると、よりカードを利用してもらえるのではないかと。現状のままでは利用率アップは難しいのではないかと思った。

委員

ウォーキングコースの整備について、歩道が整備されていても人が集まっていないような状況だと、迷子や怪我をした時のことが怖くて行きづらい。安全に加えて、人が集まるような工夫があると観光客が来やすいのでは。

※審議

委員

今回の事業は継続事業か。

事務局

こぼちウォークは継続だが、施設整備事業は新規事業。

委員

下山地区は自然豊かな地区で、アウトドアが向いている印象がある。そこを生かしてウォーキング以外にも様々なチャレンジが出来ると良い。

②小原商工会

小原商工会から説明を受け委員から意見を聴取した。

委員

4年前にも申し上げたが、特産品開発事業がなかなか形になっていないので、早く形にしてほしい。ターゲットとして小原へ日常的に訪れる通勤者、通行者とあるが、四季桜を見に来る15万人もの観光客を逃すのは非常に勿体ない。ぜひ観光客も視野に入れてほしい。

だし巻き玉子はとても良いと思うが、どうせやるならプロの料理人や学校などの力を借りて日本一美味しいだし巻き玉子を作るといい。

また、アニメのシキザクラと絡めることもできる。観光協会などの他団体とも連携して事例を作っていくとほしい。

委員

たまごサンドなどは流行で美味しいお店の評判などをよく聞く。和洋合わせることができていいと思う。観光客をターゲットにすると若い人も多く来てくれる可能性がある。若い人を取り込めるようなメニュー開発も検討してほしい。

委員

特産品開発事業で一番ネックとなっているのは人材不足ではないかと思う。

小原商工会

卵生産者と飲食店はいるが、製造者がいない。最初は保存のきく商品を開発する方向で試作を試みたが、経費がかなり高くなってしまい、飲食店で提供できるメニュー開発に切り替えた。

委員

経費に課題があるのであれば、利用できる補助制度やサポート等があるのではないか。

委員

豊田信用金庫では、豊田市内で製造ができる事業者を探してくる、といった情報提供の面で協力することができる。小原地区だけではなく豊田市内に広げてみてはどうか。

小原商工会

送料、運賃などを入れると単価が高くなってしまい、商品化が実現できなかった。

委員

スーパーで売る卵の場合は単価が高いと売れないが、観光地であれば 500 円の卵でも売れる可能性がある。観光地での販売ということも念頭に置いて検討が必要だと思う。

委員

豊橋でも、飲食店で地元の養鶏場の卵を使用し、有名な料亭がメニュー開発したたまごサンドを提供して人気が出ている。そのような事例も参考にしながら取り組んでいただきたい。

委員

量産化はハードルが高くなってしまう。各店自慢の他のメニューや食材と組み合わせるといったメニュー開発の方法もある。

③藤岡商工会

藤岡商工会から説明を受け委員から意見を聴取した

委員

藤岡地域では移動スーパーなどの取組はあるか。

藤岡商工会

山間地区を中心に、生協が定期的に移動販売を行っている。しかし、地区外へ出て買い物するケースも多く、地元商店街になかなか足が向かず、廃業に至った事業所もある。

委員

藤の色をイメージカラーとするのは、見た目の印象も美しく、良い取り組み。ふじ色のまちづくりやふじっこふうちゃんと絡めて波及したものやサービスなどはあるか。

藤岡商工会

ふじっこふうちゃんについては、地元の高校と連携して、過去に絵本を作成した。ふじ色のまちづくりについてはこれから検討していきたい。

委員

藤岡地区は北と南で環境がかなり違う印象がある。南側の住民は四郷に買い物に出てしまうため、どれだけ南部の住民を呼び込むことができるかだと思う。食料品販売事業者の誘致の必要性について南北で温度差があるのではないか。

藤岡商工会

決して買い物の利便性向上だけを目指したのではなく、藤岡地区内で人が集まる地域の核となるような施設を想定している。

委員

ではスーパーには限らないということか。

藤岡商工会

毎日利用できるものであるため、スーパーが地域の核として有効だと考えている。

④永覚新町商店街振興組合

永覚新町商店街振興組合から説明を受け委員から意見を聴取した

委員

〇〇記念日とはどのような事業か。

永覚新町商店街振興組合

例えば、お茶屋さんなら「お茶の日」など、国民の祝日以外にも様々な記念日がある。

永覚新町商店街振興組合

記念日を記したカレンダーをチラシとして作成し、お店や商品にちなんだ記念日にそのお店でセールやイベントを行う。

委員

例えばお茶の記念日にお茶の淹れ方などのレクチャーをイベントで行い、気に入った人に購入してもらおうといったものか。

永覚新町商店街振興組合

そのとおり。お店や商品の魅力を発信していくもの。

委員

IT、アプリ、QRコードなども活用して行うと良いと思う。

委員

稲武では昨年リモートで体験イベントを行った。ZOOMで遠方のお客様と繋がって商品を紹介し、その場でご注文いただくもの。選んでいただいた商品は翌日の午前中に届く。コロナ禍だからこそできることを取り入れてほしい。

(2) 商業・サービス機能誘致推進に関する基本方針の策定について

商業観光課から説明を受け委員から意見を聴取した

委員

この方針は現状を反映したものか、今後目指す姿とするものか。

事務局

今後目指すべき姿として定める指針である。

委員

地図の黄色に塗ってある地区に、指針に合致する店舗を誘致するということか。

事務局

そのとおり。テナントミックスビジョンは中心市街地全体を分析し、課題を洗い出したもの。この基本方針では誘致した事業者に奨励金が交付されるため、テナントミックスビジョンを実現するために誘致を後押しするものになる。

委員

松坂屋の撤退が予定されているが、その影響がどのような形で反映されているか。

事務局

基本的な方向性は変わっていない。今回は最近の流行を取り入れ、時間消費型大型書店を追加した。いかに街中に人を留めるかというところに視点を置いて検討した。

委員

この基本方針の不足業種はどのように絞ったのか。市民の声から抽出したものか、客観的な視点で挙げられたものなのか、どちらにあてはまるか。

事務局

市民からの声と周辺の商業施設の分析結果の両方を取り入れて作成している。

委員

今の中心市街地の一番の強みはどういったところか。

事務局

図書館、コンサートホール、豊田スタジアム、スカイホールなどの施設が駅周辺にあり、それらを目的とする来街者を集客しやすいところが強みである。

委員

スカイホールや豊田スタジアムからスポーツが連想された。バランスを取るのではなく、一つのテーマに絞って豊田市ならではの分野で誘致する方法もあるかと思った。

事務局

スポーツ観戦に来る方はまちなかで消費することが少ない傾向にある。スポーツをきっかけに来街した方にそれ以外の魅力を知ってもらえるようなまちづくりが必要だと考えた。

委員

東はスポーツ、西は芸術など、同じ中心市街地でもエリアによって求められるものが違い、誘致する業種も少しずつ違う色が出ると思った。

事務局

このビジョンが目指しているのは豊田市の街中全体を商業施設として活性化させること。周辺の公共施設や商業施設とも連携しながらエリアごとに重点を置いて検討していく。

委員

現在の松坂屋跡地への誘致の状況はどうか。

事務局

ビルの管理会社であるとよたまちづくりがテナントリーシング機能を持っているため、現在営業活動しながら交渉を進めている。